
精靈指定都市

東樹 九林

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

精霊指定都市

【Zコード】

Z6956

【作者名】

東樹 九林

【あらすじ】

地球内部に存在する秘匿されていた異界 クレプトビオシステムの交流が許されるのは政治・経済・文化・民族的に宗教上の縛りがない日本を含め、僅か数カ国に限られている。

クレプトビオシステムの精霊によって指定された都市は異界との交流が認められる。それは、都市の新たな機会を生みだした。

人口百万人を越える都市であり、かつ諸条件をクリアすることで初めて認定される『精霊指定都市』 遂に広島も異界からの指定が下りた。

都市のシンボルとなる妖精の誕生を市民みんなが喜んだ……
かし

プロローグ

ゆらり、ゆらり

我が身から 離れて浮かぶ 蛍火を

ふわら、ふわり

身体から 少しずつ離れゆく、淡く、幽かな、幻灯を
闇夜に光、まろびいでて、浮かび上がる……自然現象による発光
ではなく、科学技術による発光でもなく、怪異なる光 されども、
どこか優しい光を。

恐れながら、敬いながら、崇めながら……祈りながら、願いなが
ら何万もの人々が、慰靈の地広島平和記念公園で見守っていた。

待ち望んでいた、この日、この瞬間。

この日の為に、帰ってきた市民もいる。東京から、大阪から、日
本の方々から、広島の発展の為に、広島の新たな歴史が生まれる瞬
間を目撃するために。

木々から、草花から、川から、海から、山々から、街灯から、ビ
ルから、工場からも、光が、人々の祈りが、集まり、凝縮し、物質
化され 受肉する。

どんな『子』が産まれるのだろうか、と人々は期待で胸を膨らま
す。

どんな『広島らしさ』を表現してくれのか、人々は卵か、繭の
ような光の珠を見つめながら、想像を巡らせる。

広島市民人口114万の人々の生命を、広島の地と川と海と人口
建造物の諸々をほんの僅かずつ戴いて

そして、『それ』は産まれた！

だが、しかし

それは、望まっていたものとは、違っていた。

第一章 生まれてきたことが罪なのか

第一章 生まれた事が罪なのか

人から避けられることには慣れている。

西浦章一は、自分の醜い外見が人に不快感を『える』ことは承知していた。

福岡を発つてから早や九日が経つ。ついに広島にまで到着した。

このペースでいけばあと十日もあれば大阪にでもつくだろうか。自転車のタイヤの空気をどこかで入れておきたい。

人に、避けられるのには慣れている。

しかし、大阪に着いてからはどうしようか。
アテはない、コネもない。

誇るべき学歴はないし、職歴もないし、資格もない。
どうにかこうにかしないといけないが、とかく世間は世知辛い。
不況だし、氷河期だし、絶望的だし。
鬱鬱としていると、悪靈が寄ってきた。

おどりおどりしげが、所詮コイツらは実害がない。

悪靈の実体化は精神健康のバロメーターぐらうに思えぱいいのだ。

「なんで、広島に悪靈が実体化？」

こんなものが実体化するのは政令指定都市だけに限られる。

確か広島は精霊指定都市じゃなかつたはずだけ……

「ああ、そういうえば今年から指定されたんだっけ」

記憶をたどり、現実とすり合わせる。

しかしながら街の様子がおかしい。

悪霊以上に騒がしい妖精が能天気に遊びまわる姿が見られるはずなのに、どこにもいない。

手入れをしていないので伸び放題になつたヒゲを触る。

昔、修学旅行で来た時にはもつと人がいたような気がしたのだが、どうしてこんなに少ないのだろう。

「おじさん、悪霊に取り込まれる所でしたよ」

巫女さんだつた。うわー巫女さんだ巫女さんだ。ナマ巫女さんだよりアル巫女さんだよ。三次元の巫女さんだよ、紅白のコントラストが神秘的にいやらしく感じじるよ。

「お、おじさん！？」いつ見てもまだ18なのですが

……いや、失礼、この格好では確かに老けこんで見えるわ。

「別に死ぬなら死ぬでも良かつたのですが」

「旅の途中でしたら、早めに広島を抜けた方がいいですよ。今、広島は大変ですから」

「一体、なにがあつたんですか？」

「しらないんですか？」

目を大きく見開く巫女さん。

「ええ、(+)十日近く自転車で旅をしてたので、ニュースには疎い
もので」

「精霊が……暴走したんですね」「
十八番田の都市精霊、『広島』が

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6956j/>

精霊指定都市

2010年10月20日19時59分発行